

令和 6年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: さきたま史跡の博物館
 担当名: 総務・公園管理担当
 内線:

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P40	さきたま史跡の博物館管理費			一般会計	教育費	社会教育費	博物館費	史跡の博物館費	
事業期間	昭和44年度～	根拠法令	埼玉県立史跡の博物館条例、同管理規則		針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	4, 8, 11
					分野施策	0803	文化芸術の振興	SDGsターゲット	4-7, 8-9, 11-4
1 事業概要 さきたま史跡の博物館を適切に管理し、埼玉県の誇りである国宝「武蔵稲荷山古墳出土品」等の保管、資料の収集保護活用の円滑化、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の一層の保存活用を図るとともに、考古資料の展示や体験事業を通じて県民の学習活動を促進する。 ア 情報・体験学習室の運営 △511千円 イ 展示・広報活動 △496千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 情報・体験学習室の運営 1,739千円 イ 展示・広報活動 3,066千円 (2) 事業計画 ア 体験学習室の運営 まが玉作りや古代体験、さきたま講座、史跡探訪等の事業を行い、史跡や文化財に対する興味・関心を高める機会を提供する イ 企画展の開催 (ア) 最新出土品展の開催を予定 (イ) 企画展の開催を予定 (3) 事業効果 令和4年度利用者数 100,436人 【活動指標(アウトプット)】企画展や特別展の実施 5件、体験工房入場者数 7,995人、 アウトリーチ参加者数 3,176人、館有資料の貸出点数 4,605点 【成果指標(アウトカム)】満足度・リピート率 84%・利用者数100,436人 (4) 県民・民間活用、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア まが玉作り等の事業でボランティアを活用 イ 広報誌等への掲載での相互協力、県立学校とのイベント等の実施 ウ 埼玉県埋蔵文化財調査事業団と連携して、ほろたま展を開催 エ 地元市町村や企業等と連携して、特別史跡に昇格した「埼玉古墳群」の魅力を高め、広く周知 (5) 補正予算の概要 委託料が見込みを下回ったこと等による減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 (区分)その他教育費 (細目)社会教育費 (細節)社会教育施設費 (積算内容)博物館費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.6人=43,700千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		財産収入	諸収入						
決定額	△1,007	△944	△63					0	4,805
現計額	5,812	3,943	135					1,734	

事業内訳書

事業名	さきたま史跡の博物館管理費		
単位事業名	情報・体験学習室の運営	予算額	△ 511千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
財産収入・ 物品売払収入	△944	—	さきたま史跡の博物館 まが玉等
諸収入・ 雑入	△63	—	史跡の博物館教育普及活動参加費
一般財源	496	—	
合計	△511	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△508	—	節約等による消耗品の減
役務費	△3	—	節約等による手数料の減
合計	△511	—	

単位事業名	展示・広報活動	予算額	△ 496千円
-------	---------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△496	—	
合計	△496	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△126	—	節約等による消耗品の減
役務費	△120	—	節約等による運搬費の減
委託料	△250	—	節約等による広報物製作委託の減
合計	△496	—	